

日刊 發行飛騨縣人川崎文治 本社下同各地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳錢 廣五號十二 休日暇大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 料五字詰一行 刊(祝日ノ翌) 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番
 料五十錢 刊(祝日ノ翌) 電話六三〇番

刊夕日三十月五

生徒募集

和洋結髪 平町四間町
 美顔術 水野化粧院
 衣裳着付 電話五二五番

德島縣、當金屋、製家傳の藥
 神経痛、淋毒、梅毒、脚氣の大妙藥

退痛散

特約店 大平屋藥店
 電話六四二番

本藥は當金屋に於て天長三年今より壹千四百八十六年前より製造し居る藥にして服用者より非常なる賞讃を博しつゝあり

超特別大興行



火事と喧嘩は江戸の華
 ジャンと組の頭
 中纏持と組の頭

新門辰五郎

十巻上映

- ◇明石緑郎千草香子 坂東豊昇共演
- ◇大衆文藝白熱の二人神篇
- ◇民衆化せる時代記歌 舞伎劇(浄瑠璃入り)
- ◇マキノプロダクションが沈滞せる斯界 菅原傳授手習鑑の内

手習子屋

大谷友三郎・松浦月枝・玉木悦子・市川小文治・杉狂児・主演(義八夫出語)吾津團三郎特別出演
 説明者 水戸・町田林・富岡・丸山・總出演

十三日より 有聲座

常盤毎日新聞 今日から開けたモラトリアム

警務部長白井二郎氏談

今度の財界暴風は實質的原因にもとづいたといふのではなく、たゞ一般的に人心が不安となり、その不安が結晶し、擴大していきよゝ人心をおびやかしたものである、そして後には一犬虚をほえて萬犬實を傳へさなきだにおびえてゐる預金者があります。おのゝいたものである、まるで影を見て驚いた支那の何とぞかといふ痴人のやうに、または水鳥の羽音を源氏の大兵かと驚

初夏の仕度

青葉若葉のシーズンに相應しい本年流行のお仕度は是非三井の新館陳品を御覽の上におきめ下さい

國人絹應用織物各種
 最新柄本セル各種
 新型 洋傘各種
 美術 洋傘各種

三井呉服店

平町三丁目 電話三十八番

五月人形

外のほり

- 大布鯉
- 座敷職
- 武者人形

平町四丁目(電話七二二番)

スガノヤ提灯店

平町四丁目

フクタヤふとん店

いた平家の人々といつたものであつた、元來集團意識は急激なる變化を嫌ふのである、しかるに昨年来財界には何等か變化がありさうだといふので集團意識は不安を呈してゐた、そこへ流言飛語まで手傳つたのである。始末となつたけれどもモラトリアムが實施されて人々に内省する機會を與へられ、また兩補償法が公布されて人々には心強い鎮靜劑をもられた形となつた、従つてあれほど騒いだ人心も落つたやうである、今日では、もはや大風一過後の平靜さである、概して大暴風のあとにはカラリと晴れ渡

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進早)

南部鐵瓶

日賦 細便宜ニ致シマス

ホーキん爐カギ

大中小...精巧優美 各種...ナ作デス

南町廿九番地 南部屋

販賣員募集

本邦噴霧器界の權威 舶來品に優る堅牢無比

牛田式噴霧器各種


理化學研 異樹葉消毒藥 究所新製 ネオトロン 原藥

新人荷 石灰窒素肥料 平町二丁目

◎ネオトロン、石灰窒素說明書御申越次第進呈

西村屋藥舖

電話三番



ヤア君か、ヤア君か、見違へたよ、お互ひに餘り立派な洋服になつたので...

り通場車停町平

堂札正

金融界動搖の…… 波にもまれぬ證據

肥料購入も例年通り

石城郡内の農家は昨年夏秋一季、豫想程高値を示さず地主、自作者、小作者何れも將來を手放すのに困つて居る様な

有様な ので漸く繁農期に入り田畑に堆肥をせねばならなくなつて来た際肥料の借入れは相當困難を感じそれに銀行界の動搖から金融界が俄に緊張して居る爲め農家が肥料購入時に入つて金融に苦しんで居る

取引を してゐる關係から金融界の動搖も大變

直接には影響しないのであると言はれてゐる

鍋嘉の土藏破り

仙台で逮捕さる

小田原遊廓の牛太郎 前科二犯の怪盗

昨年十二月六日午前二丁目鍋嘉商店の土藏を破り簞笥四さは空にした事件に端を發し本年三月二十五日連續的に湯本町代議士比佐昌平氏の

土藏並よ 山形屋の土藏同じく木村順平氏の土藏及び四倉町大和田安太郎方の土藏其他を破壊し衣類貴金屬等を專問に窃取した怪盗事件に就ては平署に於て犯人の逮捕に努めて居たところ最近に到り犯人は宮城縣に入り込みたる形跡がある

平署より 仙台警察 田原遊廓の牛太郎となつて

通報した ところ平署では十二日午前三時青田刑事部長を同署に急行せし

前記窃盜品の證據をつきつけたので流石に包み切れず犯行一切を自白した同人は昨年春山形刑務所を 出獄し小田原遊廓の牛太郎となつて

居らうと仙臺市より時々平町に現れ土藏破壊の窃盜を働いて居たことが判明した

この蕪病害試験 石城郡農會においては以前から蕪病害豫防試験として種々計畫實施中であつたが本年度は更に栽培管理方面から病害の豫防並に生産の増加を計る目的で飯野村上荒川地内に四畝歩の試験地を設定し十一日郡野村技師が同地に出張し指導の下に擔當者上荒川蕪病栽培組合員廿三名を督して植付をなした

停車した機關車の 車輪に血痕が附着

店員風の轢死体 傍らよ自轉車が横はる

昨日午後七時五十分平驛發平郡線列車(機關手畑山鉄三郎運轉)が川前驛に到着せる際機關車の車輪に血痕の附着せるを發見したる爲め線路を捜査せる處川前村字荷附地内に身体軀二ツに轢斷されたる角帶前だれ掛一見廿五六歳店員風の轢死体を發見したが住所氏名等不詳にて傍らには石川郡役所交附の一七四號鐵札を附した自轉車が投げ棄てあつた

仙臺講習生募集 仙臺通信講習所では今回通信講習生を募集して居るが

仙臺通信講習所では今回通信講習生を募集して居るが



台所へ出る虫

何れの家庭にしましても一番弱らせられるのは、臺所その他に虫がはびこることです。この虫と來たら實に繁殖力が盛んで繁殖期に

徴兵抽籤 時

來る十八日に 石城郡に於ける本年度徴兵検査は那南舊菊多方も終

は殆ど手がつけられませんが從來虫を驅除する藥品も可成あることはありますが、手数がかかります上に、中々容易にその効が現れて來ないので、誰方にしましてもし、加減、根氣負がいたします、ところが茲に古くから言ひ傳へられてゐる秘法があります。それはか

炭鑛界不況

鑛業税は滞納 賃金は拂へず

石城郡内の各炭鑛は不景氣の影響を受けて經營難に陥り一流ごころの炭鑛を除いては鑛業税を滞納數年來徴收不能となつてゐるものもあ

町田坑は 月末から採炭 工事を急ぐ

福島茨城宮城 三縣聯合庭球

來月五日平商コート 平俱樂部主催の福島茨城宮城三縣聯合第六回庭球大會は來月五日平商業學校コートの優勝組は磐城で今年も榮譽あるカップを手放すまいと必死練習中である

農事講習會

神谷分場にて 石城郡神谷村立農事試験分場では十五日午前九時から午後三時迄同場講習室に於て農事講習會を開催するが課目は有利なる夏季の蔬菜及花卉の栽培法及病虫害豫防法に就て講師は稲田場長小橋技手其他同場職員である

本物の舞子も三舍を避くる

風光絶佳の新舞子 未だ全国的でないのは 地方の大なる損失

湯本温泉が炭礦掘進の影響で涸渇して以來平町の附近には全国的に知られた名所が全く絶無になつて仕舞つた、平町自身の立場から云つても平町附近に遊覽地的の

名所を 一ヶ所も有して居ない事は甚だ心細い次第で、一寸他地方から客のあつた場合等にも案内してお國自慢を發揮すと云ふ譯には行かない、斯かる場

實際に 本物の舞子も三舍を避くる程に其風景の規圖が壯大で然も何等人工を加へた無理がなく全く自然其儘の清淨な風景を横へて居る、然るに少しも全国的に知られて居ない爲めに他地方の人々の遊心を少しも唆らず地方としては一種の寶の持ちぐさの觀が

全國に 知られる事

ある平町としても同海岸がある事考へても是非聲を大にして新舞子の宣傳に努むべき責任がある、此意味から今回東京日日新聞社の新八景投票には最大多數の榮冠を擔つて當選し得べき様十二分の後援を惜んではならぬ

本縣警察官 武道試合 成績

京都武徳殿で 鈴木平署勝つ

今回京都に於て舉行した大日本武徳會第三十二回大會に出席したる本縣警察官

- 士の成績左の如し
- ▲二段の部
 - 福島 大越 辰雄
 - 大阪 川畑 政雄
 - 朝鮮 菅原 清志
 - 福島 阿久津 藤市郎
 - 神奈川 濱壽 藤市郎
 - 福島 荒 宗雄
 - ▲三段の部
 - 朝鮮 十二所 常意
 - 福島 高橋 繁
 - 愛知 土屋 林平
 - 福島 遠藤 國光
 - 千葉 上野 秀四郎
 - 和歌山 野口 乙吉
 - 四段の部
 - 福島 鈴木 忠正
 - 東京 中島 幸次郎
 - ▲教士の部
 - 東京 齋藤 教士 江口 兼吉
 - 福島 教士 小川 文章
 - 山口 教士 早川 要
 - 福島 教士 小川 文章